

令和元年度第1回南知多町総合教育会議 議事録

開閉会の日時	令和元年12月16日(月) 午後 3時22分 開会 午後 4時51分 閉会
開催場所	南知多町役場 講義室
出席した構成員	石黒和彦町長、高橋 篤教育長、日比淳子教育長職務代理者、 池戸義久教育委員、大岩芳子教育委員、坂口薫史教育委員、 折戸良直教育委員
説明のため出席した職員	田中嘉久総務部長、鈴木茂夫企画部長、山下雅弘教育部長、 石黒俊光学校教育課長、森 崇史社会教育課長、山本剛資学校 給食センター所長
会議日程	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
傍聴人	1人

(別 紙)

令和元度 第1回 南知多町総合教育会議 会議日程

日 時 令和元年12月16日(月)  
午後3時～  
場 所 南知多町役場 講義室

1 町長あいさつ

2 協議・調整事項

(1) 南知多町立小中学校における適正規模適正配置に関する意見交換会の結果及び今後の進め方について

- |                           |     |
|---------------------------|-----|
| ア 意見交換会の結果について            | 資料1 |
| イ 基本的な進め方について             | 資料2 |
| ウ 基本計画に記載する内容(項目)について     | 資料3 |
| エ 適正規模適正配置検討委員の委嘱の考え方について | 資料4 |

(2) その他

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)  石黒町長	<p>只今より令和元年度総合教育会議を開会致します。進行を勤めます、教育部長の山下です。よろしく申し上げます。まず初めに、町長よりあいさつをお願い致します。</p> <p>みなさんどうもこんにちは、本日、総合教育会議を開催いたしましたところ教育委員の皆さん方にはご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。日頃から本町の教育のためご尽力いただいていることを心から感謝申し上げます。さて、小中学校の適正配置につきましては、本年1月に開催しました統合教育会議で、学校規模の適正化に関する基本的な考え方及びその検討スケジュールにつきまして協議調整を図りました。それに基づきまして教育委員会では、本年7月及び8月に保護者そして教職員の皆様からアンケートを行っていただきまして、10月から11月にかけて町内5地区で住民を対象として意見交換会を開催させていただきました。今年度1回目の開催となります本日の会議につきましては意見交換会の結果や今後のすすめ方につきまして協議を行っていただき、その方向性を確認してまいりたいと考えております。教育委員の皆様におかれましては、忌たんのないご意見を賜りますようお願いを申し上げ、私からの冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>続きまして、協議調整事項に入ります。南知多町総合教育会議設置要綱第4条1項の規定によりまして、町長の下で議事の進行をお願い致します。</p>
事務局 (山下教育部長) 石黒町長	<p>それでは、早速ですが、協議調整事項に入らせていただきます。事務局の説明をお願い致します。</p> <p>それでは、本日の次第によりまして、(1)南知多町立小中学校における適正規模適正配置に関する意見交換会の結果及び今後の進め方につきまして、ア～エまでの</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>4点の項目を分けさせていただきます。このうち、アにつきましては意見交換会の結果についての報告の部分でありますので、まず、これだけ最初に説明させていただきます。資料の方ですが、資料1の南知多町学校規模適正化(学校統合)に関する意見交換会をご覧ください。1ページ目をお開きください。1番の目的、につきましては表記のとおりであります。3の実施方法につきましてはですが、すべての中学校区で地域住民を対象に全5中学校区で実施することと致しました。実施にあたりまして、各区長には直接文書で案内を送りますとともに、町の広報とホームページで掲載をしまして、地域住民の方に参加を呼びかけました。尚、日間賀島住民に対してはエリアトークでも参加の呼びかけを致しました。意見交換会の進め方は、前半に7月に実施したアンケート結果の説明を行い、後半にグループに別れ、意見交換を行いました。4 日程及び会場につきまして、こちらの記載のとおりであります。5の参加者につきましては記載のとおり、5地区合計で87人、そのうち保護者は27名でありました。2ページ目6の総括をご覧ください。意見交換会では、「小学校の統合」及び「中学校の統合」についてどう考えるかについてをテーマに多くの意見が出されました。地区により特</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>色のあるものになりましたが総括として、ここで挙げました(1)統合して欲しい、それから(2)現行のままでもいい、(3)課題、そして(4)その他に分けて、代表的な意見をご紹介します。尚、その次のページ以降は各会場での意見ですが、数が多いので、総括にかえさせていただきます。後ほどご覧ください。以上、意見交換会での報告とさせていただきます。</p> <p>それでは意見交換会の結果の報告につきまして、只今、事務局からの説明がございました。これにつきましてご意見、ご質問などございましたらお願い申し上げます。</p>
高橋教育長	<p>自分も各地区の意見交換会に出させていただきます。先程もありましたように、参加人数は最初に予想していたよりも少なく、それはちょっと残念な気持ちもあるのですが、出席された方からも本当に熱い思いというか、町全体のことを考えていただいた意見をたくさん出していただいたというふうに思います。これを元に、教育委員会としては今後の学校のあり方というのを検討していく力をいただいたような気がします。</p>
石黒町長 池戸教育委員	<p>他にございませんか。</p> <p>私も意見交換会に参加しまして、住民の方の意見をお聞きしました。特に「師崎小学校、大井小学校の統合を早く」という意見が多かったのと、このご意見をまとめたものを見ますと他の地域の方もそのようにお考えというか、そうかなと今、これを見まして、豊浜地区、内海地区の方も大井小、師小を統合した方がいいのではないかなというようなことで、やはり、現状考えますと、早急にすすめていきたいな、と私の担当の地域としてそんなように思っております。</p>
石黒町長	<p>他に質問等もないようですので、次にすすめさせていただきます。イの基本的な進め方につきまして、とウの基本計画に記載する内容についてということで、関連がございますので一括して事務局の説明をお願い致します。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>イとウについて説明させていただきます。まず、「イの基本的な進め方(案)」についてご説明致します。(資料2 小中学校適正規模適正配置の基本的な進め方(案)を説明)、つづきまして、「ウの基本計画に記載します内容の項目」についてご説明致します。(資料3 南知多町小中学校適正規模適正配置に関する基本計画記載事項(案)を説明)、以上、イ及びウについての説明を終わらせていただきます。</p>
石黒町長 高橋教育長	<p>この案についての補足説明はしないですか。</p> <p>今、部長から提案のあったところの南知多町がめざす将来の学校教育(案)のところですが、2ページ目の一番上は基本的な教育体系です。それぞれの保護者の方々から出していただいたアンケート結果、意見交換会でのご意見と総合的な判断をして、「1中5小」ということの方角性を先程のこの会に先立つ教育委員会でも、これで行こうということになりました。ただしこれはあくまでも、今の段階でのということでありまして今の0歳児から上の学年は複式学級をせ</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>ずに何とかいけそうであると小学校区において。それですから何とか「1中5小」を目標にいけるかなと。ただ、将来的に複式学級になってきてしまうようなときには、もう一度検討しなければいけない場面が出てくるかもしれませんので、あくまでも、今の段階は、という提案をさせていただきます。それで、部長からもありましたように島の方々はちょっとまだその姿が見えないと、統合されたときの姿が見えないと、不安なところから今まだ「1中」というのは難しいというような感触を受けておりますが、できましたら本当に一つの中学校になりたいな、という思いがありますので、日間賀、篠島の方には、この後も時々、島へ行って説明をしながら意見交換を続けていきたいというふうに考えております。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>そうしましたら、今、話の1つにありました資料2の小中学校適正規模適正配置の基本的な考え方案につきまして、とそれから、適正規模適正配置の基本計画の記載項目の案、この2つにつきまして、総合的にご説明とかご意見ございませんか。</p> <p>確認ですけど、4の推進体制ですけれども、「教育委員会」と「総合教育会議」と「南知多町立小中学校適正規模適正配置検討委員会」との3つの関連は、最終的には基本計画をつくる上には教育委員会が決定するということでもいいんですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>基本計画につきましては、教育委員会の方で決定をするんですが、総合教育会議において、協議の調整を行った上ですすめていくというふうに考えておりますので、基本計画として決定はしますが、町としてすすめていくにあたっては総合教育会議での調整が必要になると考えております。</p>
石黒町長	<p>そこがよく分からないです。その基本計画は、最終的には、例えば4章で、4章の3番目に具体的な適正配置が関わってくる以上、また財政的なことも含めて、総合教育会議が教育委員会の上に、また調整して変えるなんてことはあり得ないじゃないですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>協議調整して、一致できなければ、ここで、統合教育会議の中で一致をみなければ、執行ができないことになるかな、と思います。</p>
石黒町長	<p>基本計画そのものは、教育委員会が決定をして、執行していこうと思うと、総合教育会議で、協議調整をして全員のOKをもらえないとすすまないという考えでよいのか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>はい、そういう考えです。</p>
石黒町長	<p>みなさん、どうですか。そういうことで、基本計画を外に発表しちゃってから、すすまないこともある。とかになるか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>いいえ。基本計画の発表は総合教育会議の後に、基本計画としては発表していきます。</p>
石黒町長	<p>事務方の方、そこら辺、住民への発表について、教育委員会事務局としては、</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>そういう方針でいくということですがよいですか。資料3にあります、記載項目もこれでよろしいですか。</p> <p>先ほども町長からも話のあった、検討委員会ですけれども、これについてはあくまでも、資料を元に意見をその事件ごとに話していただいて、それを教育委員会の方に提出していただきます。教育委員会はそれを元に、総合教育会議にかけます。総合教育会議で、判断をしていただく、そういうことになります。理想的には、全員賛成というのが望ましいわけなんですけれども、ひょっとすると若干、票が割れてしまう場合もあるかもしれませんが、その場合も何らかの結論を出さなければいけないと思いますので、その総合教育会議の中でとにかく決定をするという風で捉えております。</p>
石黒町長	<p>こだわるのではありませんが、この2ページにおける4推進体制で、教育委員会が基本計画を決定するということをする以上、最終的には、町教育総合会議の後で教育委員会が基本計画として決定するということになりますよね。</p>
池戸教育委員	<p>ここでは、案ということではないですか。教育委員会では基本計画案を決定するということではないんですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>あくまでも教育委員会での議決事項になりますのでこの基本計画というのは、教育委員会の中で決定するものと思っています。ただ、それが今おっしゃったように、総合教育会議を経て、教育委員会にもう1回戻す、ということ、まあ、おっしゃるとおり総合教育会議の中で協調を図った上で、教育委員会として決定していくということは、おっしゃるとおりかな、と思います。ただ、あくまでも、議案として決定していくのは教育委員会であると思います。それで、町長部局については事務執行にあたっての予算の関係ですとかがございますので、そちらの方はまた、町長部局の中ですすめていっていただく、ということです。</p>
石黒町長	<p>かなり実施計画上のものも含めたものとして、総合教育会議で結論を出すには、町長部局の方が予算も含めた内容にそう考慮をしていかなければいけないというか。最終的に教育委員会で決定をしてから変更はできないということですか。その方向である程度いかなければいけません。先ほど教育長のおっしゃったその基本理念の中、基本的な方針の中で、複式学級の今の考えの段階ではすべて、どこまで考えても、今の0歳時の段階では複式学級にならないと、一応「1中5小」というのを位置付けているので、ただ今の段階では、基本的にはこの5小を担保していかなければいけないと町長部局としては認めた上で、それで基本計画で決定して発表した以上、その方向で、こちらも予算付けも含めたことを担保しないと、基本計画を出したのにそこから変わるということはあまり अच्छいかん僕 はちょっと気になって言っているのですけれども、その辺はいいですね。</p>
田中総務部長	<p>たぶん、町長が今言われているのは、その案の中に例えば教育委員会さんですと、例えば、たぶんこの一番最初のところにあるように、この教育的な視点で検討をすすめていくというふうに言われていますので、やはりそういった教育面か</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)  田中総務部長	<p>らのアプローチで、いろいろ協議されてきたと思うのです。ただここで、地域の方もそうなんですけども、行政の方の代表的な財政的な点を言われたのですが、こういったような観点が管理されてきたようなものがこれがどこの部分で反映されているのかというところだと思うんですね。まだ、この検討委員会というのできていないもんですから、先程、検討委員会の意見をもらって教育委員会の方で、その案をとということだったのですけれども、ちょっと順序がそれというのは、スケジュール的に可能なのでしょうかね。もうこれですぐ今、ある程度この計画をつくるんですよ。</p> <p>すすめ方の案としましては、教育委員会の中で素案をまずつくって、それについて検討委員会の中でご意見をいただくという考え、でその中でご意見出てきたものについてもう一回、教育委員会の方で戻していただいて、どう反映させていくかということを検討したいということです。</p>
事務局 (山下教育部長) 田中総務部長	<p>教育委員会のたぶん事務局案ということだと思うのですけれども、その時点では役場のいろいろな部分とのこともあると思うのです、保育所のこともあるでしょうし、そうした財政面のこともあろうかと思うんです。あるいはあのいろいろ地域交通だとかですね。そういった面からのですね規制もあると思うので、そういったような調整というのはその検討委員会にける前の段階で、これは意見調整を図るということ、そういうことですか。</p>
事務局 (山下教育部長) 田中総務部長	<p>教育委員会部局での案についてはそういった調整を図った上で出していこう、という考えであります。</p> <p>素案の段階で、そういったようなところをある程度、煮つめたものを出したい、ということですか。</p>
石黒町長	<p>それが5回繰り返しながら、町長部局のいろんな課に問い合わせて、その案ごとに1回ずつやっていくから最終的には、教育委員会が計画を決定するとしたとしても、その前に総合教育会議が位置づけられているというのは表向きは最終的には、総合教育会議を経てから決定という発表になるのですか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>そうです。総合教育会議が終わってから、発表していくということになります。</p>
石黒町長	<p>そうすると、総合教育会議の段階ではかなり僕はこだわっているのは4章です、学校規模の適正化における基本的な配慮として、適正化に伴う改善計画、その具体的な適正配置というのは、場所も決めてある程度詰めていかないといけないんじゃないでしょうか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>そうです。</p>
石黒町長	<p>そういうことも含めて、総合教育会議の中では、町長部局の方の役割としては、かなりその統合にあたっての、期間的なものもあるのでハードだなあと思って、今この2人の部長さんにそれだけの覚悟がありますかね、ということを確認しま</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中総務部長 石黒町長	<p>す。</p> <p>やってかないかんけど。計画をねってかないかんで。</p> <p>それはまあ、そうですね。</p> <p>それと「1中5小」に対しても、具体的なことも含めて、総合管理計画をつくった中でも意見をこのときに出していかないと、これはあのホームページ出しますので、どんな機能を私たちがしとるのかということをしちっと伝わるようにしてもらわないといかん、と思っている。</p>
鈴木企画部長	<p>推進体制の理解の仕方ですけれども、「教育委員会」「総合教育会議」それから「適正配置の検討委員会」ということで3つある、それぞれ影響し合うと思うんですけれども、「規模としては」適正規模を「適正配置の検討委員会」がやるのだらうなあと、それを上回る教育についてのことを所管するのが「教育委員会」だらうと、さらに広く「総合教育会議」というところで、財政的な面、人口だとか、将来願望だとかもっと広い公共施設の適正配置とかをからめて町全体の、流れを踏まえながら教育としての基本計画、これの町としての方針をしちっと位置づけて現実的なものとしてすすめていくということになるのかな、というふうな理解でよろしいでしょうか。</p>
石黒町長	<p>それは何が言いたいかということ、まず、役場として、公共施設の統合管理計画があると、その中に、学校規模も非常に総合計画の中で、配置のことを考えますと、半分以上の割合が、学校がうちの総合管理計画も、財政的なものも位置づけられているということですよ。それに対して教育委員会の方の基本計画に対しては、そこで、その、総合的に、その、総合管理計画の中での意図を含めて、学校のことを決めていくというその覚悟だということ、それを僕は言いたい。それでいいんです。ということは「1中5小」でいいんですか、ということです。</p>
鈴木企画部長	<p>最初に、教育長さんも言ってみえたんですけれども、「1中5小」「3中5小」という言葉が出てきておるのですけれども例えば、中学校については「1中」又は「3中」かと言うのはまだわからない。「5小」というんだけれども、0歳児までの当面のところをみると基本方針の中で、複式学級にしなくてもやっていけるだろうなということが言える、今現在はわかるのだけれども、それより先については、まだデータもないし、わからないんですよ、というところを踏まえると、やはり見直しが必要だろうと、あるいは財政的な見直しがより厳しくなってくるという将来もあるかもしれないという中で、ある時期には、基本計画自体も、見直しの時期がくるんだらうなあと、いうところも踏まえながら、今スタートするにあたっては、この条件でスタートしましょうと、いう認識でスタートすることを、みなさんで決めていくのかなあと、そういう風な理解でよいですかね。</p>
高橋教育長	<p>今の現状ではということがあって、企画部長が言われたように将来的に、生徒数がどうなっていくかわからないですし、ひよっとすると転出していったらまた減っちゃったということもあるかもしれませんので、そのときには基本計画について</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>て検討しなければいけないと思います。</p> <p>教育委員の皆さん方には、おわかりになっていただけてますけれども、少なくとも耐用年数が来たら、建て直さなければいけないというのが大前提にあるわけなんです。それをどんどんどん伸ばしていこうとすると、長寿命化計画というものを立てていくということで、その長寿命化計画というのが全施設含めてどれだけの条件を整えば、長寿命化で20年伸ばせるのか、30年伸ばせるのかわからないんですね。建て直さなければいけないくらいのお金をかけなければいけないかもしれない。ただわからない状態ですので、「1中5小」がここで、今の段階では教育的な配慮の中から、これでいうと書いてありますが、財政の方からは、将来確実に、永遠に、この「1中5小」でいくということを決めたものではないということをお願いしたいというふうな話で、その辺のご理解でよいですね。</p> <p>他に何か、この、資料2、資料3につきましてのご意見はございませんでしょうか。</p>
池戸教育委員	<p>すいません、今のことに関連してなんですけれども「4の推進体制」これ(3)の検討委員会を一番上に持ってきたらどうですかね。検討委員会と(1)にし、(2)は教育委員会、そして(3)は総合教育会議とすると流れがわかっていいんじゃないかなあ、と。最後に教育委員会へ報告するとあるのでそれを踏まえて基本計画として決定とし、総合教育会議で協議調整を行って、最終的に決定というふうにするのはまずいんですか。そういうふうにするとうわりやすいかな、と。</p>
石黒町長 事務局 (山下教育部長)	<p>順番だけのことですね。(3)、(1)、(2)とした方がいいということですね。</p> <p>はい、わかりました。あの、繋がっているのでぐるぐると、というイメージではありますが、大丈夫です。</p>
石黒町長 事務局 (山下教育部長)	<p>では、4番の推進体制の表現を(1)、(2)、(3)とあるものを(3)、(1)、(2)という形に変更検討するということですね。</p> <p>はい。</p>
石黒町長 高橋教育長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>目ざす将来の学校教育のところを読みます。大きい3番統合後の小中連携の手立て、あくまでこれは例なのですけれども、財政に関わってくる部分もあるものですから、せつかく今日、総務部長も企画部長もいますので、こころも委員も皆さんからも意見をいただいた中で、可能な部分があるのか、これでいけるのかというのを、ご意見いただけたらな、と思います。大きい3番の小中連携の手立て例というところで、まず、小学校です。将来育てたい児童生徒像にも関連してくるんですが、小学校の1、2年生には、生活科という教科がありまして、これは理科と社会を合わせたような教科なのですけれども、この中で1年生が家の中で家族の中でどういう役割を持つのかということをおぼることがあります。2年生</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>になるとその学びがちょっと広がって、地域の中でいろんな施設があったり、地域の人と関わっていくという部分を学ぶところがあります。このときに学校としては現地へ出かけて行って学習させたいと、教科書だけに止まらず、そういう施設の方も行くということはまたお金もかかってくるのかなと思われま。それから(2)、3年生から6年生まで、これは1、2年生は小さいということ避けたのですけれども、6年生までには自分の住んでいる地域以外の4地区、例えば豊浜地区から見ると、内海、師崎、篠島、日間賀島、この4地区へ行ってそれぞれの郷土の歴史だとか、そういうものを学んでくるというものを考えています。ここもちょっと財政に関わってくる部分があります。それから(3)1、2年生の学習を発展させて、3、4年生では、総合的な学習の時間で、自分の住む地域の地理や文化、歴史などをより深く学ぶ、地域の方に来ていただいて、これこそお金のかかる部分ではないかと思われま。それから、5、6年生では、3、4年生で学んだ地域学習を活かして、地域へ情報発信する、地域の方にも再度自分の地域を見直してもらおうという、それから地域行事への参加をすすめていく、ここはそうお金のかかるところではないですが、学校の教育が必要かなあと、という風に思われま。それから、4年生から6年生で、今、南知多町では陸上大会だとか小学校体育大会だとかをやっているのですけれども、現状では、ちっちゃい小学校ですと、参加のできない種目があります。それであると、中々交流ということ考えると寂しい感じがしますので、時期をずらして、すべての学校が参加できるように計画できたらなあ、という風に思います。それから(6)番ですが、せっかく八百津町と友好交流町を結んでおりますので、こちらの方に行って、世界の杉原千畝さんの業績を学んだりだとか、水源のあるダムのところを見てくるだとかいうのも、子どもたちにとっていいかなあ、と思います。これも、保護者の負担になる部分があるかもしれませんが、せっかくの友好交流町ですので、何かの町からの補助もあるといいなあ、とそんなことも考えたりしています。それから(7)は修学旅行ですので、保護者がほぼ負担かもしれませんが、一緒に5小学校が京都、奈良に行って、ここでも中学校で一緒になる準備をしていくということのことです。それから、中学生になりましたら、小学校で学んだ各地域の勉強をそれぞれ、学年の中であるいは全校で紹介し合う、それで5つの地区が学び合う時間が欲しいなあ、というふうに思っています。それから(2)番では、これも下諏訪町、姉妹町ですので、こちらから行って、山、湖、山の生活だとかそういったところを勉強できたらいいなと、ここも可能なら町からちょっと補助があると保護者の方はいいかなあ、というふうなことも思います。それから、(3)番では南知多町の漁業、農業、観光業などの大きな産業について、中2の立場で学んで、それを発表し、それで各地区で開かれている、例えば日間賀サミットだとか、そういうところに参加をして、町内のほかの地区の様子を地元の人たちに教える、日間賀の子たちが「豊浜ではね、こういうことをやっているんだよ」というような、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>そんな活動もできたらどうか、と思います。(4)番では休日や長期休暇中は地域行事へ、できるだけなんですけれども参加をして、地域の方との結びつきを、今までどおり何とか維持したい、という感じです。それから3ページの方へいきますと、意見交換会の中でも、小学校6年生から中学校1年生になったときの、不登校を心配している人がたくさんいましたので教育支援相談の専門家を配置して、子どもたちの悩み相談だとか、統合対策、それから、保護者の支援ができればいいなあ、というふうに思います。それで、この中学校に配置した人は小学校の方も巡回しながら、児童保護者の相談活動をすすめていくと、中学校へ上がったときにうまく連携がとれるのではないかとということです。それから(6)番、学校祭のときには、せっかくいろんな地区の方が集まりますので、大人の人も何かこうブースかコーナーを出していただくといいのかな、というふうに思います。それから4番の部活動では、中学校に設置する部活動、生徒数もすごく多くなるわけではないものですから、限界はありますが、できるだけ従来、中学校にあった部活動を考慮して入っていったらと、そのときには小学校にあった男子のソフト、サッカーそれから女子の卓球、バスケなんかが中学校でも続けられるといいなど。もちろんソフトは野球という形になるかもしれませんが。それから中学校は無い種目、例えば陸上だとか水泳だとか、そういうものも、せっかく学んでいるのであれば、顧問がつけば中小体連の大会に出れますから、こちらも参加できたらいいな、と思います。それから、部活動についてはあくまでも自主参加ということにして、それぞれ続けている空手だとか、ピアノや書道そういうものはそのまま活かしていけたらいいな、と。さらに部活動をやりたいのであったら、別に部活動に出ていただいたらいいのではないかと。それから、遠距離から集まることになりますので、朝の練習は基本的には無しにしたらどうか、と。土日の活動については、どちらか一日は、部活動で、もう一日の方は、保護者や本人が望む場合に社会教育でこの体制を助けてもらえるといいかなあ、というふうに思います。それから、せっかく近くに高校とか大学がありますので、いろんな分野で高校との交流、それから部活動の、例えば高1と中3の試合だとかもいいんじゃないかと思いますが、いろんなところで、交流ができるといいし日福のスポーツ科学部それから日福の子ども発達学部、こういったところと連携をしながら、子どもたちを育てるところに力を貸していただけたらというふうにも思います。それから小中学校は今度は逆に大学生が小中学校の現場で子どもたちを知りたいという声があれば協力していく必要もあるのではないかと、それから将来的には本当に中学生が自分の地元だけではなくて、南知多町全体のことの説明ができるようになっていくと心強い。観光ボランティアは今、高齢化がすすんでいてボランティアの方々もかなり苦しんでいる部分もあって、後継者も欲しいという部分もありますので、子どもたちが将来、そういうふうになるといいなあ、というふうに思います。それから地域ごとにサミットもありますけれども、そういった</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>ところももっと発展して、南知多町全体を考えていけるようなものになるといいのかな、と。今日の段階ではあくまでも案としての例ですので、もっともっといろいろ、学校と協力しながら、子どもたちの将来のためにすすめていける案をつくっていきたいと考えています。</p>
高橋教育長	<p>今、教育長の方から、この南知多町の日ざす学校教育案ということに関しましての説明をしていただきましたけれども、企画部長や総務部長から見るとどんどん前もって予算をつけることを想定していかないと間に合わなくなるな、と。</p>
石黒町長	<p>来年度すぐには無理だと思います。できても令和3年度からと。</p>
田中総務部長	<p>とりあえず、1中5小という基本的な教育体系という最初の1の項目の中の6項の高度連携教育というものの具体的な案を示していただきたいという感じがします。それに対して、まあ、方向は一緒だね。</p> <p>何となくね、今、教育長から提案いただいたんだけど、この辺はまあ、学校間連携だとか、あるいはこの何というか、いろいろその学校間だとか地域の交流だとかこういったような観点から授業を膨らませてくれたという感じで、まあ、おそらく実際にやろうと思うとまあ細々したいろんな費用だとか、体制だとかいうのは、ちょっと検討がいるのかなあと、思うんですけど、まあ方向性としては、これで多分、町長の方針に沿っているんですよね。交流と連携の拡大という方向は。</p>
石黒町長	<p>とりあえず、第2 資料2、資料3における学校の適正規模適正配置に関する基本的な基本計画に入れる記載項目の中での今、議論をしてもらっているのですけれども、大きな流れとして、この方向でよろしいですかね。</p>
高橋教育長 鈴木企画部長	<p>企画部長、どうですか。八百津や下諏訪町とか。</p> <p>教育長の壮大な、立派な方針がこの中に示されたような形で、本当に素晴らしいかと思うんです。それで、一つは財政的な面のいろいろな移動に関してどうするかとか、そういったことは課題にあると思うんですけども、教育現場との今の校長先生とか、学校の先生などの意見だとかもここに入っておるのですか。</p>
高橋教育長	<p>先日、校長会ではある程度の案を示した段階で、それに対する意見はまだもらっていません。だから別にこれで決まっちゃっているわけではないので、また、現場との調整も必要になってくると思います。</p>
鈴木企画部長	<p>今までの、小学校、中学校のイメージだとやっぱり小学校区、中学校区の中に閉じられた生徒だったものが、こういったことで、あのみんなで町でいろんな特徴的な地区に分散しているという特徴のある町だと思います。そういう中で、子どもたちが子どもの頃から移動して、いろんなところの歴史だとか風習だとか、そういうものを身につけながら知りながら育っていくというような形になっているなあと、そういう面では深いなあ、と思います。</p>
高橋教育長	<p>例えば、南知多町ではこんな教育をやっとるぞというのが、他の市町の人たちが見て、そういうところで、子育てしたいなあというふうに思うような町になる</p>

発 言 者	発 言 内 容
日比教育委員	<p>とよいなあと思うんですね。先日ある市町から大井に転校してきた人がいます。決して都会の方の子どもは都会がよいのではなくて、場合によってはこういう田舎で子育てしたいというご家族もあると思う。そういうときに、あそこで子育てしたいという、そういう南知多町になるとよいなあと思います。</p> <p>私もとても賛成なんですけれども、3番の小学校のところの陸上大会とか小学校体育大会とかが書いてあるのですけれども、他にも体育のことだけではなくて、文化的なこと、芸術的なことで、例えば音楽鑑賞会とかを行ったらいいんじゃないかな、と思います。例えば、内田佐七家にくる東京フィルメンバーにでも、いつもは1つの学校しか行かないですけれども、例えばそれを皆が集まって鑑賞会をすると、そのときには、保護者の方も来ることができるとか、そういうふうにしたら、やっぱり、都会の方では芸術的な機会に触れることはたくさんあるけれども、こちらの方だとどうしてもそういうことが遅れ気味になってしまいますので、さっきみたいによそから来た人でも、こっちに来てもしそういうことに触れることができるんだなあ、と思ってもらえるのはいいことだなあ、と思います。</p>
石黒町長	<p>行事だけでも限らず幅広く連携して学校間をゆき渡れる感をつくっていきたいです。</p>
田中総務部長	<p>こういったようなものに近い、あれで、下諏訪町だとか、八百津だとかというのは、こっちの学校との交流を希望したことはあるんですけれども、中々、学校はそういったような新しい取り組みに取り組みなかったというようなところがあるんですけれども、林間学校も下諏訪の方へ行ってはどうかというそういったような提案は前にもあって、向こうさんからも、そういったのを受け入れたいというのがあったと記憶しているんですけれども、中々、学校にどうですか、どっか1校の学校と交流する学校を例えば、今度、下諏訪の学校がこっちに来るんですけれども、それでまあ、どっかの学校で一つね、全校的に一緒になって何かやってはどうか、と提案したんですけれども、中々、学校の方も動けなかったということもあるんですけれども。今の教育長さんのご提案の中で、やっぱり、僕は行政の方のこう言った制約も大きいと思うんですけれども、それぞれの学校の先生の負担もあると思われるので、こちらの方の理解がかなり必要なんじゃないかな、と思うんですけどね。</p>
高橋教育長	<p>この前の校長会で提案した段階では、例えば八百津だとか、下諏訪町の件は、行って学んでくるという話はしたんですけれども、今の段階では交流とまでは考えていなくて、向こうの地域を学んでくるというだけだったら、全然、抵抗感はなかったです。行先を変えることについては。ただそこで、交流ということが入ってくるとそれで時間が取られてしまうので、またちょっと考えないといけないです。</p>
池戸教育委員	<p>今の交流じゃなくても、林間学校、修学旅行は、師崎小と大井小は一緒に行ってますし、費用はかかるばかりではなくて、人数によってはバス1台で済むの</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>で費用は安くなります。そこで、交流ができるので中学校に入ったときもコミュニケーションとかがよくなるので、一概にその、費用がかかるというふうでもないと思うので、すすめてもよいのではないかな、と思います。</p> <p>ありがとうございます。ご意見いただきました。基本的には、学校の適正化委員会でどんどん会話されたときに、町部局の方へどんどん情報をいただいて、親身に対応していかないといけないと、いきなり総合教育会議で、バーンと言ってもできないからということですね。そういうことで、いろんな意見をいただきながら、今からもやっていきたいと思います。それでは、他にどうでしょうか。</p>
石黒町長	<p>それでは、協議事項の中の、この基本的な進め方や基本計画に対する記載する内容についても、たくさんの意見をいただきました。そのような中で、それを踏まえてすすめていきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
石黒町長	<p>それでは次に、この適正規模適正配置検討委員の委嘱の考え方につきましては、議論をすすめたと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>はい、それでは資料4の6ページになります。適正規模適正配置検討委員会の設置の考え方であります。資料4をお願いします。まず、3ページ目の設置要綱の案をご覧ください。こちらの中の第3につきまして、組織のことをうたってございます。委員会は委員30人以内で組織をする。委員は次にかかげる者の内から南知多町教育委員会が委嘱するというので、第1号～第4号まで、上から1号としまして保護者の代表の方、(2)は校長会の代表の方、(3)は、区長会の代表の方、(4)がその他教育委員会が必要と認める者というものであります。それで戻っていただきまして、1、2ページに名簿の案がお示ししてあります。これもまた、案ということですが、保護者の代表としましてはここに17名挙げてあります。各小学校、中学校の保護者の代表の方が1名ずつ、また未就学児童の保護者の代表として各保育所それから篠島保育園ですが、保護者会の代表の方が1名ずつで17名、それから校長会の代表としまして町の校長会長が1名で、町の校長会副会長が2名おりますので、全部で3名です。それから地区の代表区長さんの、区長会の代表としまして、町内5地区の区長の代表の方で5名と考えております。それから、その他教育委員会の認める者ということで識見を有する者という方、こちらの方を何名かお願いしたいな、と思います。それで、その後の名簿については、事務局の名簿と教育委員の名簿が載せてあります。以上になります。</p>
石黒町長	<p>事務局の説明が終わりました。只今事務局から説明のございました適正規模適正配置検討委員の委嘱についての考え方につきまして、皆様からご意見をいただきたいと存じます。何かございませんか。</p>
日比教育委員	<p>これは年度が変わると保護者の代表とかなんとかは、メンバーチェンジになりますか。</p>
事務局	<p>基本的な任期は1年と考えておりますが、ただ再任をする場合もございます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
(山下教育部長) 石黒町長	今、委員のおっしゃっているのは、これが完成するまで年度で変わった方がいいのか、それともずっと最後までこの人たちでやるべきなのか、という議論がどうかということですよ。
日比教育委員 石黒町長	代わった場合、また一から理解しなければいけなくなってくるので。その辺の考え方は、事務局どうですか。
事務局 (山下教育部長)	これの保護者代表という方、それと区長さんもそうであります。特に保護者の方ですと中学ですと、中学3年生の保護者の方というところが代表になれるのかな、という感じもします。それで、例えば想定としまして、PTAの役員とかが委員にならない場合、そのPTAの役員を降りたときに、その案についてPTAに持ち帰って話ができるかという、役員を降りた場合にはできないのではないかと思います。なので、役職としてはとりあえず任期は1年として、また改めて、この計画が2年、3年に渡った場合は、改めて委員の委嘱をし直すものかな、というふうには考えています。
日比教育委員 高橋教育長	まあ、いろんな人が知るのもいいことだ、と思います。 今のことに関連してもいますが、実際にこの検討委員会が発足するのは、令和2年度のスタートになると思います。それで検討を何年も重ねていると、先程出ていますけども、地域の方や子どもたちも早くというのがありますので、スピード感を持ってすすめていきたいと思っていますので、令和2年度中には、結論は出さないといけないというふうに思っています。それから、ちょっと保護者が多いかなというご意見の方もいらっしゃるかもしれませんが、意見交換会に行ったときに地域の方々からも、やっぱり、「保護者の意見でやればええがね。オレたちは、直接関係ないで。」というような意見もまあありましたので、そういう意味で、実際に子育てをしている方々の意見を多くしてあるという経緯があります。
石黒町長	他に意見はございませんか。
田中企画部長	ちょっと質問なのですが、式次第の方は、委員会の名称なのですが、「南知多町学校適正規模適正配置検討委員会」と、資料4のところでは、「南知多町学校規模適正化検討委員会」というふうに不統一なんですけど、これはどうですか。
事務局 (山下教育部長)	そうですね。統一していないところがあります。申し訳ありません。名前としては「適正規模適正配置」とこれから統一していきたいと思っています。
高橋教育長	名前はまだ検討中なので、あまり固い名前よりも、もうちょっと柔らかな名称がいいかな、と個人的には思います。
石黒町長	正式名称は、今後、次回までには決まるんですよ。
事務局	資料としては誤っていて、統一が取れておりませんでした。
(山下教育部長)	
石黒町長	その他に何かございませんか。

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長) 石黒町長	<p>ちょっと、私からで申し訳ありませんが、保護者代表というのは、どういうふうに決めるのですか。保育所保護者会代表というのは、PTA だけではなくて、どういうふうに決めてもいいんですか。</p> <p>基本的に決め方としては、各学校の方に保護者の代表をお願いしますというふうをお願いをするのかな、と思います。</p> <p>そうすると、一般の親御さんで、私がやりたいというふうであったら、委員となることがあり得るんですか。</p>
事務局 (山下教育部長) 高橋教育長	<p>そういう学校が決め方をしてくるのなら、それはあり得るのかな、と思います。</p> <p>あくまでも、これは代表として出ていただきますので、それぞれの学校の皆さんのご意見を代表として述べていただくことになりますから、それからもう一つ、この委員会が成立するためには参加者が過半数を超えなければ成立しないと思いますので、そういう意味で例えば会長がお忙しいので出れないというような学校でしたら、母親代表の方だとか、それこそそういう PTA に関わっていないけれども、ちゃんと意見を学校の代表として述べてその会に出てきたものを皆さんに持ち帰って知らせるといった動きも必要になってきますので、そういうことがやれる方となってきますので、各学校へお任せとなってきます。</p>
石黒町長	<p>そうすると、この学校保護者代表というのは、子どもたちの保護者としての代表であるから、各学校で保護者代表として出た意見を集約して、検討委員会で言ったり、そこで出たきたことを持ち帰って伝えるとか、ということまで、学校へある程度お願いしますか。</p>
高橋教育長	<p>そうです。最初の段階から、それを知っていてももらわないとその役割を果たせる人でないとやっぱり困ってしまいますので。言わばなしで、何も持ち帰らないのでは困ってしまいます。</p>
石黒町長	<p>このところ、いろいろの会議を行っても、過半数の参加というのが無くて。時間がこう忙しい方が多いので、特に保護者の方は働いている方が多いので、その調整がつかないことがあるのですが、そういった場合は、委任状とかも含めて出席確保するということか。そういうことは設置要綱に記載しますか。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>今の考えの中では、設置要綱の中ではなくて、会議の運用の方で決めたいと思います。</p>
石黒町長	<p>他に何かございませんか。基本的には、代理出席を認めるということですね。合議されている組織をつくっていくから誰が来ても同じレベルで対応すると、そういうふうにするということですね。</p>
石黒町長 事務局 (山下教育部長)	<p>他に何かありませんか。</p> <p>今のものですがけれども、一応、要綱の中では、要綱に定めるものの他については、教育委員会で決めるということになっています。</p>
石黒町長	<p>この要綱はここで決める内容になりますが、ここで決めますか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (山下教育部長)	<p>このような方向で行くということを決めていただければよいです。この方向でよいと町総合会議で決めていただければ、この考え方でいく、この方向でいくというふうに決めていただければ、委員さんについては教育委員会の方で委嘱をしたものを次回でお示しすることになると思います。</p>
石黒町長	<p>あえて、反対意見がなければ、それで行くということですね。総合会議の中で議決をとるということはなかったと思うので、それでよいですね。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>はい、この場で、それでいくということで確認をしていただきたいと思います。</p>
石黒町長	<p>他にご意見、ご発言はございませんか。そうしましたら一応これで、(1)の議題の最後まで来ました。全体を通じまして、今の部長からありましたように、今の議論の中でこういう方向でいこうというようなことがだんだん見えてまいりましたので、総合教育会議としましては、この方向ですすめていくということでご異議ございませんか。よいですかね。異議なしということですからすすめていきます。お願いいたします。</p>
石黒町長	<p>続きまして、2、協議調整事項の中の(2)その他でございます。せっかくの機会でございますので、教育委員の皆様あるいは、町長部局の方の部長も含めて、何かご意見ございましたら、個人的な意見、ご要望でもかまいませんので、よろしく申し上げます。</p>
坂口教育委員	<p>【坂口議員】やっぱり、現状今だと、縮小というか、総合という方向ではありますけれど、この南知多町、この先どういうふうな態勢をとっていくのか、人口をもっと増やすという、南知多町として、もっと人口を集めるような政策をするのか、このまま歳をとって衰退していくのか、その辺の考え方はどういうふうになっていますか。</p>
石黒町長	<p>それは私は人口ストップというのが政策の第一として実現したいと頑張っているところでして、衰退して、消滅自治体になるのを、ハイ、ハイと待っているわけにもいきませんので、全力を尽くして、皆さんと知恵を出しながら実現していくならそうしたまちにしていきたいと、思っています。態勢としては、できるだけ早く止めて。</p>
坂口教育委員	<p>もっと魅力ある、出ていきたくないような、もっと人が集まるような、できれば本当に、あの今ある廃校になった学校の、山海や豊丘が復活できるくらいの人口が増えればというのが、まあちょっと考えが大きすぎるかもしれませんが、実際、本当に豊かなまち、例えば、こういう地方は国から特別な手当を出すとか。税金免除とか、そういうような、それくらいやらないと人が集まってこないんだらあ、と。実際、あの漁師、漁業とか、大事な職業だと思うんですよ。他の地域ではできないのが漁師。東京の方でも、あの新鮮な魚を食べるとんだもんだい。やっぱり、そういう大事なところ、山奥でもそういう、ダムとかも大事だと思うし、絶対、地方が大切なんだけど、都市に集中しちゃうから、だから是非、</p>

発 言 者	発 言 内 容
石黒町長	<p>あのこっちに集まれるような、いい南知多町をつくって行って欲しいです。</p> <p>お一人、お一人に意見をお伺いしたい内容でございますが、基本的には、そんな捨てたもんじゃない、と思っています。私はこの町は。本当にポテンシャルはあると思っています、そう、心配してやってませんからね。1時間で名古屋まで行けてですよ、こんなに自然がいっぱいあって、豊かな歴史や文化を持っているところを子どもたちも知って、僕の子どもの頃に、自分のまちを知ろうなんて、学校では無かったと思う。自分で町の中に出たとしても、内田佐七家があんなに価値のあるものだよとか、それから、伊勢神宮と篠島が近いとかね。そんなことを子どもの頃を知るなんてことは、チャンスもなかったと思うのね。留学生なんかが増えるようにすると、自分のところを話せないような留学生はおらへん。日本人くらい。自分のまちがどういうまちで、と言えないのは。威張って言うてくるぐらい、どんどん外国人は、今。教育長はそういうことをイメージして、こういうものをつくられたかな、と感じましたけれども、まず、自分たちのまちを好きになってもらえば、留まる、留まらないは別として、まあ、発信はできるかな、ということは今、一生懸命にやっているところです。ウミ・ヒト・ココロもそうですし。空き家バンクにしたって一生懸命にやってくれています。</p>
大岩教育委員	<p>今、その学校統廃合やっていますけれども、子どもたちが少なくなってことは、人口が減っていくこととイコールだと思うんですよね。それで、昔は人口が多いときに、どこかで働いて、でもこちらから、半田や武豊に働きに行っていたと思うんですよね。それで、交通の手段はバスも減ってきているし、バス代が高いということで、皆さん、中々、駅の近くへ、内海へ引越されている人があると思うんですよね。それを親が推奨しているというのもあるんですけども。やっぱり、家庭の中で、親子の関係で上手にコミュニケーションをとっていただいて、こっちから通えるような子どもを。やっぱり、父兄とか両親は一生懸命に働いていて、朝早くから夜遅くまで働いていて、子どもたちともそう話しをする時間もない、家庭の中でも何か、ご飯が済んだら、お部屋にいくという、そういう状況があると思うんですよ。だから、やっぱり、学校でもその保護者の方にも家でのコミュニケーションの取り方とか、やってもらって、子どもたちがもう成人しても、高校、大学へいっても、就職は半田、名古屋にしても、そのそこへ行ける、交通手段をもうちょっと町としては。もっとバスを走らせてもらおうとか、今のバスの定期券を安くしてもらおうとか、その辺を頑張っていただいてそうするともうちょっと、こっちから行けるようになってくれるといいかな、と思います。</p>
日比教育委員	<p>スマホの害の話を教育委員会研修会で聞きましたよね。スマホが脳に与える影響がとてもある、という話をすごく聞いて、大事な話だな、と思ったんです。学校の先生が小学校1年生に入ったときに、親にとにかく、スマホの脳に与える害の話をしていくと、それを10年間やると、だいたいいろんなところに浸透していくから、そうやって毎年みんなにお母さんにそれを摺り込んでいく、というか、</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>みんなでそのスマホの害を1日でもちょっとでもいいので遅らせようと言って、みんなでこう手をつないでいくと、そうすると、そういうちょっとした困った現象が少しでも遅くなるんじゃないか、ということ、思いました。今そういう運動をよそでされているという話なので。そういうのって、こう今ちょうど、みんなで一緒にしましょう、という話になっているから、南知多町全体で、足並みを整えてそういうことを取り組むことも可能な時期なのかな、とちょっと思いました。それも、よそから人を呼び込むものになるかもしれない、とも思いました。友だちが持っているからという理由で、みんなが欲しいのだから、そういうふうに取り組みができるといいですね。</p> <p>スマホが脳に与える影響というのはとても大きい、というのが研修会の講演の話にあったんですけども、その話の中で、自然とのふれあいとかは、脳に対して逆にとても有効だ、という部分があるんですね。だから、そうなったら、まあ、南知多町はとってもメリットを持っているわけで、しかも、先程、大岩委員が言ってくださったように、バスで自由に動く、町内で動きができるようになったら、いろんなところの自然や文化を見ることができるというのは、脳の発達にとってもいいと思いますね。だから、学校統合していくというのは、ある意味、ピンチではあるかもしれませんが、逆にチャンスに変える必要があって、今の小中学校の中の、いけなかったところを見直して、直していければいいわけですので、いききっかけになればいいかな、と思っています。</p>
池戸教育委員	<p>バスも走っているのなら、子どもを無料にしても、動いているのだからいいんじゃないのか。人がゼロよりも乗っていた方がいいんじゃないか。</p>
大岩教育委員	<p>若い方でも、内海とか自然の好きな人がいるんですね。もっともっと南知多のPRをしてください。</p>
日比教育委員	<p>バスの話で、海っ子バスに子どもを乗せることに対して、使い慣れたくないために、マイナスイメージや拒否感のある場合があるので、どんどんどんどん、いろんなところで、使える状況をつくっていけば、そういう拒否感反応が減ってくるのかな、と思います。</p>
石黒町長	<p>それじゃあ、町長部局の人は、今の話を励みにして、頑張りましょう。</p> <p>とりあえず、今後も、いろいろな話のできる会に持っていきたいと思いますので、いろいろ発言をよろしくお願い致します。</p> <p>以上を持ちまして、令和元年度の第1回総合教育会議を閉会させていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>